



2026年5月7日

## 研修レポート

尼崎市議会議員 真鍋修司

2026年4月10日（金）13時30分から行われた研修を、USB動画データにより受講

講座名：生成AI（チャットGPT）を活用した議会質問の作り方  
講師：元枚方市議会議長 木村亮太氏

### （講義内容）

今回、木村講師が生成AIとして活用されたのは、OpenAIが提供するChatGPTではなく、Googleが提供するNotebookLM（ノートブックLM）でした。GoogleアカウントがあればNotebookLMはログインできます。

ChatGPTが、情報源を、学習された情報やインターネット上の広範な知識を元にして、様々なタスク（作業）に対応しているのに対して、NotebookLMは、ソース（資料）としてアップロードされた資料を活用することに特化しているところに違いがあります。

また、そのことから、前者はハルシネーション（嘘の情報）が発生する可能性があります。後者は、情報の出所が明確であり「信頼性」が高いです。

そして、このNotebookLMには無料版と有料版がありますが、まずは無料版で問題ありません。（無料版では、ノートブックの作成は100個、資料は1ノートブックあたり50個可能で、それ以上が必要であれば有料プランを使用する）

アップロードができるのは、PDF、ウェブサイト、Google、Googleスライド、YouTube、URLです。エクセルはアップロードできません。（後述しますがエクセルデータも加工すれば活用できます）

そして、NotebookLMでは、これらを活用して、要約、よくある質問、タイムライン、概要説明資料などをワンクリックで作成することができ、音声解説や、解説動画の生成も可能です。

NotebookLMの基本的な使い方は、まず、①行政資料のリンクを貼り付けたり、議会資料、議案書、委員会資料、予算決算資料（PDF）等、情報源（ソース）を入れる。②要約や「計画の進捗状況を教えてください」等の指示を入れる。③結果が出る。④レポート出力概要説明資料を作成。音声解説、動画解説を作成です。

他市のデータも入れることによって、他市との比較もできます。

次に、財政分析、事業分析へのAIの活用について、財政分析のために使える資料は、総務省が各自治体から提出されたものを取りまとめている「財政状況資料集」というものがあるので、それを使えば容易にすることができます。また、当然ながら類似都市との比較表も簡単に作成することができます

NotebookLMを使つての財政分析について、NotebookLMはGoogleスプレッドシート対応となっているため、「財政状況資料集」はExcelファイル形式ですのでそのままではアップロードできないので、まず「財政状況資料集」をダウンロードし、次にそれをGoogle Driveに格納して、ExcelファイルをGoogleスプレッドシートに変換して使います。

同じ要領で、行政から提供されている「事務事業評価」を使つてさまざまなプロンプト（指示を出すための質問や命令文）を入力して事業分析をすることができます。

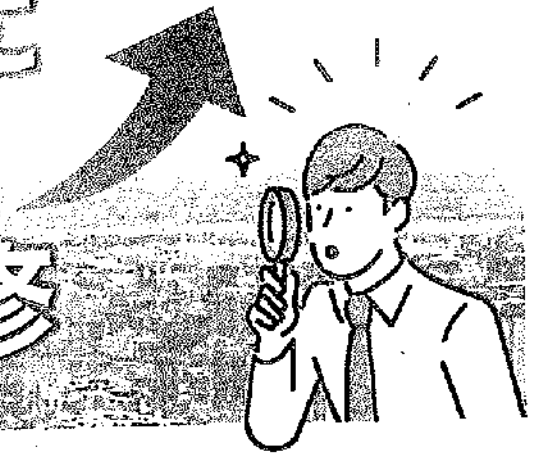
### （所感）

かつては、自治体の財政分析や事業分析をするには、自分で自治体の多くの資料を調べなければならず、また、他都市との比較をするのも同様で、その都市のデータをさまざまに調べて比べなければならなかったけれども、生成AIを活用することによって、とても容易に分析表等を作成することができることがわかり良かったです。

今まで要していた調査の時間、分析表作成の時間を、今後は内容分析に当てることができるので、これからは、できるだけ生成AIを活用して、議会質問の精度をあげていきたいと思ひます。

以上

# 令和の地方議会に 求められる 議員カアツプ研修



日程 4.10 (金) 5.22 (金)

午前部 10:00 ▶ 12:30

## 生成AI (チャットGPT) を活用した 議員活動の基礎

- ・生成AI (チャットGPT) でできること
- ・議員活動における基本的な使い方
- ・議会発言のための有効な使い方
- ・ブログ、広報での活用方法
- ・生成AI時代の議員がすべき役割と動き方

午後部 13:30 ▶ 16:00

## 生成AI (チャットGPT) を活用した 議会質問の作り方

- ・生成AIを活用した行政資料の分析・要約の仕方
- ・財政分析での活用方法
- ・事業分析での活用方法
- ・生成AI時代に必要な政策実現力

日程 4.11 (土) 5.23 (土)

午前部 10:00 ▶ 12:30

## 地方創生2.0について ① 若者や女性に選ばれる地方を作るためには

- ・子育て世代のニーズをつかもう
- ・役所の計画などの確認
- ・保育環境の改善や議会質問での提言
- ・教育委員会関連の質問時のポイント

午後部 13:30 ▶ 16:00

## 地方創生2.0について ② 民の力を活かす官民連携の強化について

- ・新しい官民連携の最新事例
- ・逆プロボで実現した各地の事業
- ・新しい民間委託PFSのススメ
- ・人口減少時代の自治体経営のありかた



元枚方市議会議員



木村 亮太 / きむら りょうた

枚方市生まれ、大阪大学経済学部卒業後、スタートアップ企業（ベンチャー企業）を経て、2011年より無所属で3期12年枚方市市議会議員として活動。2023年4月で任期満了。2015年度監査委員、2016年度議会改革調査特別委員会委員長、2018年度副議長、2022年度議長などを歴任。市議会議員時代の政策提言や議会改革の取り組みがマニフェスト大賞最優秀賞、グッドアイデア賞、優秀賞躍進賞を受賞。『はじめて取り組む自治体職員のための成果連動型委託契約(PFS)/ソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)実践ガイドブック』、日経グローバルに寄稿実績あり。全国市議会議長会での講演実績あり。グローバル経営大学院でMBA、京都大学大学院公共政策大学院で公共政策修士を取得。